

宇都宮市鬼怒川洪水ハザードマップ(南部)

平成29年6月
宇都宮市河川課



凡例 Legend	
	広域避難場所 Evacuation Area
	避難所 Refuge
	一時避難場所 Temporary Evacuation Area
	市役所・出張所等 City Office / Branch Office etc.
	警察署 Police Station
	交番・駐在所 Police Box / Residential Police Box
	消防署 Fire Station
	消防署分署 Branch Fire Station
	救護所 First-aid Station
	要配慮者利用施設 Facilities of a Person Needing Protection
	アンダーパス Underpass
	堤防の位置 Flood Embankment
	避難方向の目安 Evacuation Direction
	土石流警戒区域 Mudslide Caution Zone
	急傾斜地崩壊警戒区域 Steep-slope Landslide Caution Zone
	浸水被害箇所 Inundation Results Place
	地区境界 Neighborhood Association Boundary
	行政界 City Boundary

宇都宮市 鬼怒川洪水ハザードマップ

この地図は国土交通省が指定・公表した、鬼怒川流域における「想定し得る最大規模の降雨(鬼怒川流域72時間総雨量669mm)」により、鬼怒川の堤防が複数箇所決壊した場合に「浸水が想定される区域」「想定される浸水の深さ」「想定される浸水の継続時間」「家屋の倒壊・流失が想定される区域」に加え、市が指定する避難所等を記載したものです。

万一の場合に備えて日頃からこの地図を活用し、避難所や避難方法について確認しておきましょう。

※この洪水ハザードマップは鬼怒川のみを対象としています。

想定最大規模の浸水深の想定と目安

	2階の天井以上までつかる程度 5.0m
	1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度 3.0m
	1階の床から1階の天井までつかる程度 0.5m
	1階の床までつかる程度 0.5m

浸水深区分

	10.0m~20.0m未満
	5.0m~10.0m未満
	3.0m~5.0m未満
	0.5m~3.0m未満
	0.5m未満

浸水継続時間

	24時間	「想定し得る最大規模の降雨」によって鬼怒川が氾濫した場合に、浸水が継続する時間を表示しています。浸水が継続する時間が最大 24 時間、最大 72 時間の区域を表示しています。表示がない場所においては最大 12 時間となります。
	72時間	

家屋倒壊等氾濫想定区域

避難行動	注釈
	本宅家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要な区域。ただし、氾濫が既に発生している場合など、避難所へ移動することにより、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な建物や場所への避難が必要。さらに外出することすら危険な場合には、屋内での安全確保が必要。
	家屋が倒壊するような河岸侵食の発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要な区域。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。(承認番号 平28国図、第70号)